

機械器具 (03) 医療用消毒器
 指定管理医療機器 特定保守管理医療機器
 小型包装品用高圧蒸気滅菌器 (38671020) / 小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 (40547020)

ステイティム 900J

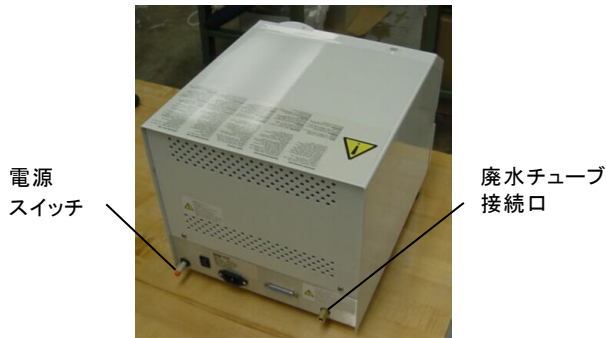
【警告】

- 滅菌終了後、被滅菌物及び引き出しの金属部は高温になっています。又高温蒸気が引き出し開口部から排出されますので、やけどに注意してください。
- 滅菌中は排水チューブ及びチューブ接続部は高温になっているため、やけどに注意してください。
- 装置のカバーは決して取り外さないでください。また、開口部又は穴に物を差し込まないでください。
- 通気口及び装置の上部の開放部を覆ったり、塞がないでください。
- 廃水チューブはねじらないでください。
- 指定された者のみが、サービス、保守または修理を行ってください。
- アースを必ず、正しく接続してください。

【禁忌・禁止】

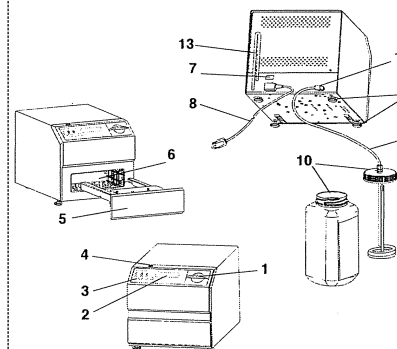
- 本品には、蒸気工程用蒸留水のみを使用してください。特に、ろ過水は使用しないでください。水道水は決して使用しないでください。[機器に損傷を与え、保証の対象外となる。]
- 布、液体、繊維、生物由来廃棄物及び以下の材料は、本品により滅菌しないでください。
 ポリエチレン、ABS、スチレン、セルロース誘導体、PVC、アクリル (Plexiglas™)、PPO (Noryl™)、ラテックス、ネオプレン及び類似材料。[機器又は装置の損傷を起こす恐れがある。]
- 被滅菌物の全重量が合計 1.0 kg を超えないようにしてください。

背面



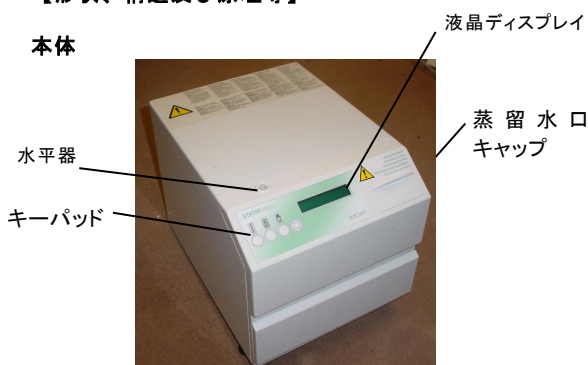
各部の名称

- 蒸留水口キャップ
- 液晶ディスプレイ
- キーパッド (スイッチ)
- 水平器
- 引き出し
- 滅菌チャンパー
- 電源スイッチ
- 電源コード
- 脚 (水平水準調整用)
- 廃水容器及びコイル
- 廃水チューブ
- 廃水チューブ接続口
- 水抜きチューブ

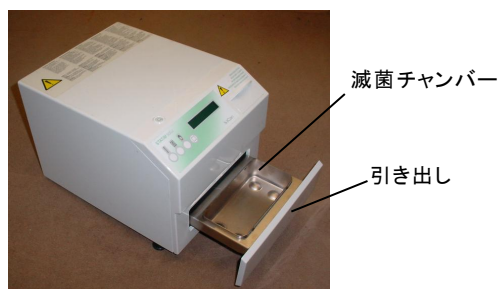


【形状、構造及び原理等】

本体



引き出しをあけた状態



キーパッド (表示) の説明

	MULTIFUNCTION ボタン	滅菌チャンパーの引き出しの開閉を行う際、使用する。滅菌サイクル中にこのボタンを押すと、滅菌サイクルが停止する。
	滅菌袋を使用しないインスツルメントの滅菌	硬質金属製インスツルメントの滅菌の際、使用する。このキーを押すと 134℃、3.5 分間の滅菌サイクルを開始する。
	滅菌袋を使用したインスツルメントの滅菌	滅菌袋に入れたインスツルメント、歯科用ハンドピースの滅菌の際、使用する。このキーを押すと 134℃、5 分間の滅菌サイクルを開始する。
	ラバー及びプラスチック製インスツルメントの滅菌	ゴム及びプラスチック製インスツルメントの滅菌の際、使用する。このキーを押すと 121℃、15 分間の滅菌サイクルを開始する。

装置本体 *寸法： 重量：	384 mm（奥行き）×293 mm（幅）×280 mm（高さ） 13 kg
滅菌チャンパー *寸法：	190 mm（奥行き）×90 mm（幅）×53 mm（高さ）
蒸留水容器 容量：	3.0 L
電氣的定格：	100 V、50/60 Hz、1200 W

本品の滅菌チャンパーは、可動式引き出しの中に収められている。

滅菌サイクル中、制御アルゴリズムで水量測定された水は、貯水タンクから水蒸気生成器に注入され、ここで水蒸気が生成され、滅菌チャンパー内に直接行き渡る。水蒸気温度は、滅菌中
本品の滅菌チャンパーは容量が小さいため、より迅速に加熱することができる。そのため、滅菌サイクルを通して加熱及び冷却に要する時間は短い。

【使用目的、又は効果】

高圧を有する蒸気を容器に導入し湿熱を利用し医療に使用する器具機材を滅菌する。

【使用方法等】

以下の手順の詳細は取扱説明書をご参照ください。

1. 蒸留水口キャップをはずし、満量近くまで蒸留水容器に蒸気水を注ぐ。
2. 電源スイッチを入れる。
3. MULTIFUNCTION ボタンを押すと引き出しが自動的に開く。滅菌チャンパーからバスケットを取り出し、被滅菌物をバスケットに入れる。滅菌チャンパーにバスケットを入れ、MULTIFUNCTION ボタンを押す。引き出しが自動的に閉まる。
4. 滅菌サイクルのボタンを押す。滅菌が自動的に開始する。
5. 換気の完了後、引き出しが自動的に開く。その後、被滅菌物を取り出す。
6. MULTIFUNCTION ボタンを押し、電源スイッチを切る。

【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- ・ 機器を日常的に使用する場合には、チャンパー内部を頻繁に清掃してください。
- ・ 引き出しを装置から清掃してください。
その後、徹底的に洗剤を取り除くようすすいでください。清掃後、滅菌チャンパーは内部表面を Stat-Dri で処理してください。
- ・ 日常的に適切なケミカルインジケーターを使用してください。各滅菌に少なくとも1個のインジケーターを使用してください。
- ・ 操作及び保守時は、火傷に注意してください。
- ・ 蒸留水のみを使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

適切な場所を選んで装置を設置してください。

・ 温度及び湿度

直射日光の当たる場所、又は熱源（例えば、通気孔又はラジエーター）に近い閉鎖された場所での設置は避けてください。推奨温度は 15～25℃、湿度 25～75% です。

・ 設置場所

通気口及び装置の上の開放部を覆ったり、塞いだりしないでください。装置の上部、側部及び背面部と壁やパーティションの間は、最低 50mm の間隔を空けてください。

・ 換気

本品は清潔で、ほこりのない環境で使用してください。

・ 設置面

平面で、水平のとれた耐水性の台の上に設置してください。決して、傾斜した場所には設置しないでください。

・ 電波妨害の回避

本品は、電波妨害回避基準の試験に適合しています。また、本品は、如何なる妨害電波も発生しませんが、他の機器の発生する妨害電波により作動不良を起こす可能性があります。よって、こうした機器から離れた場所に設置し、別の電源に接続してください。

・ 電氣的要件

本品の背面ラベルに表示している電圧と同一の電源に、適切に接地し、ヒューズ月電源を使用してください。サージサプレッサーを使用する場合は、1 台の機器のみでプラグを使用してください。

【保守・点検に係る事項】

【使用者による保守点検事項】

詳細は取扱説明書をご参照下さい。

滅菌チャンパー	使用後は無塩素の洗浄剤等で内部を洗浄し、水でよくすすぐ。
本体	1 週間に一度、又は未使用期間があった場合は、初めに空サイクルを実施する。外部表面は弱い洗浄液又は消毒液で湿らせた柔らかい布で清掃する。
蒸留水容器	使用後は水抜きを行う。
廃水容器	満水レベル以上にならないように適宜排水し、清掃後最低ラインまで水を入れる。無塩素の消毒剤の使用は可能である。

【業者による保守点検事項】

1 年に 1 回、以下の事項を行ってください。

滅菌チャンパー	引き出し、シール部分に損傷がないか確認する。必要な場合は、交換する。
ソレノイド弁	弁を検査し、汚れている場合は清掃する。不良品の場合は交換する。
ポンプ	フィルターを清掃し、汚れている場合は交換する。
蒸留水容器	汚れを確認する。必要な場合は、蒸留水での清掃及びすすぎを行う。
較正	装置の較正を行う。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等等】

***選任製造販売業者**

名称：AJMD 株式会社

電話番号：03-5614-0733

外国製造所の名称及び国名

名称：SciCan Ltd. （サイキャン社）

国名：カナダ

****販売業者**

カボデンタルシステムズ株式会社